

■学修成果情報共有システムの説明

このアンケートは、産業界、専門学校、高等学校が、「資格枠組のレベル定義（レベルディスクリプター：LD）」にしたがった共通の尺度である「学修成果指標」で学修成果を測定し、その結果を共有する仕組み（以下、「学修成果情報共有システム」）の実現に向けて、そのニーズを調査するものです。

このシステムについて当機構は、図1のようなイメージを抱いています。すなわち、よい人材を獲得したい産業界、産業界が必要とする人材を育成しようとする専門学校、よい教育機関に人材を送り出したい高等学校、これらが「LD」にしたがった共通の尺度でそれぞれに所属する人材の学修成果を測定し、その結果を共有することによって、互いにメリットをもたらすことを目指しています。

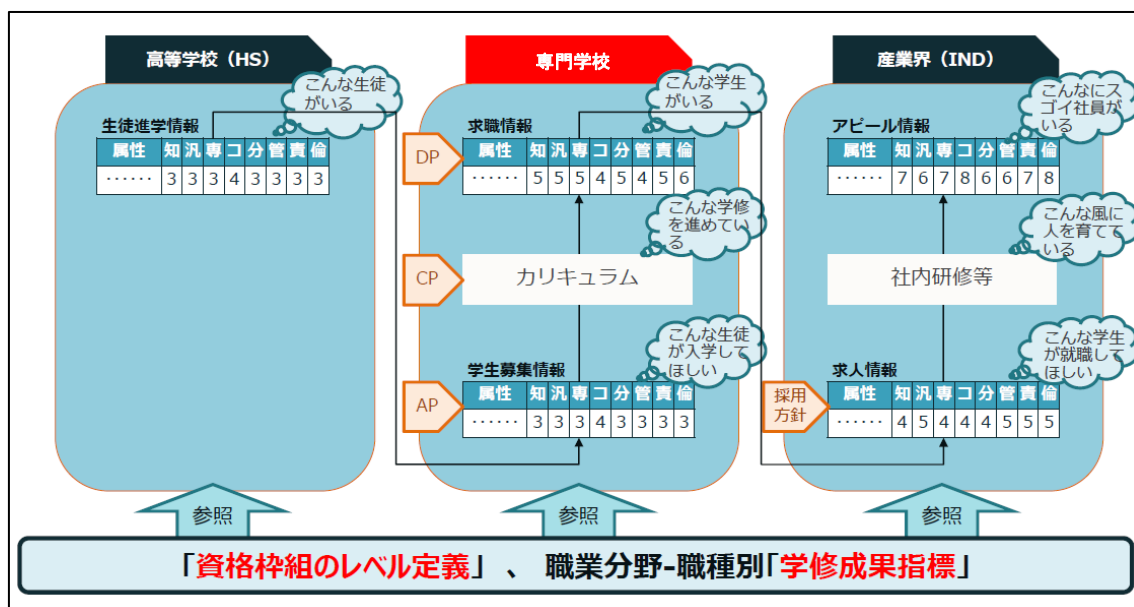


図1 学修成果情報共有システムのイメージ

図中、「知」「汎」「専」…「倫」と1字で書いてあるものは、学修成果指標の8つの人材特性で、それぞれ、「知：知識と理解」「汎：汎用的な技能」「専：専門実践技能」「コ：対人技能」「分：分析技能」「管：管理・指導技能」「責：自律性と責任感」「倫：倫理観とプロ意識」を表します。また、「DP」はディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、「CP」はカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、「AP」はアドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）を表します。

今回のアンケートでは、特に産業界と専門学校との間のニーズについて調査いたしません。